

土木工学・建築学委員会インフラ高度化分科会（第25期・第11回）議事要旨

日時：令和4年12月15日（木）14:00～15:10

会場：ハイブリッド開催（対面，オンライン Zoom）

出席者/以下敬称略：

小林潔司，竹脇出，天野玲子，小松利光，多々納裕一，那須清吾，安福規之，小野潔

配布資料：

資料1 前回（第10回）議事要旨（案）

資料2 IRDR 分科会 意思の表出（提言）の申出書案

資料3，資料3-2 IRDR 分科会 意思の表出（提言）骨子案，構成案

資料4 インフラ高度化分科会 意思の表出（見解）の申出書案

資料5 インフラ高度化分科会 意思の表出（見解）骨子案

1. 前回議事要旨の確認

第10回分科会議事録案が了承された。

2. IRDR 分科会の「意思の表出」について

多々納委員より，資料2，資料3，資料3-2に基づき，IRDR 分科会の意思の表出（提言）の申出書，骨子案，構成案の紹介があった。多々納委員の紹介された内容に対する意見等の概要は以下の通り。

- ・意見の表出（提言）の本文について，意見等あれば，年内目途で，多々納委員に連絡することになった。
- ・IRDR 分科会の申出書に対して，本分科会が合意したことが確認された。
- ・内閣官房のナショナル・レジリエンス懇談会で，国土強靱化の方針を取りまとめている。IRDR 分科会の成果を内閣官房にも伝えようと考えている。可能であれば，そのことを申出書に記載してもらうのが良いのではないかと考えている。

3. インフラ高度化分科会の「意思の表出」について

小林委員長より資料4に基づき本分科会の意見の表出（見解）の申出書案について，多々納委員，小野委員より資料5および資料3に基づき意思の表出（見解）の骨子案について，それぞれ紹介があった。紹介された主な内容，それに対する意見等の概要は以下の通り。

- ・ 申出書の締め切りが1月末日であり、3月末日までに意思の表出（見解）の本文を完成させて、審査に入るという予定である。
- ・ 学術会議として意見を表出するため、用語の定義、使い方をしっかりする必要がある。特に、「インフラ」、「ガバナンス」、「越境」については、しっかりする必要がある。
- ・ 意思の表出（見解）の骨子案を早急に作成する必要がある。
- ・ DX, well-being の定義も重要である。
- ・ 本分科会の意思の表出（見解）が IRDR 分科会の意思の表出（提言）を参照する形で、IRDR 分科会との整合をとる予定である。
- ・ 次回分科会（令和5年2月28日開催予定）では、意見の表出（見解）の本文の議論ができるように準備を進めていく。

4. その他

- ・ 第26期の連携会員の推薦、継続の申請について紹介があった。

（文責：小野）